豊かな市の財政を
市民要求実現に

日本共産党川崎市議団が 2020年度予算要望書を市長に提出

市民の皆さんからうかがった要望や各界、団体から寄せられた要望をまとめ、11月26日福田市長に提出しました。この要望書は各分野への要望を16章にわたってまとめ７行政区の区民要望もまとめました。市長は要望書を受け取り「知恵を出し合い、要望については議論を重ねていきたい。」と述べました。

▲写真は右から、赤石ひろ子（多摩区）、小堀しょうこ（高津区）、渡辺学（幸区）、石川けんじ（宮前区）、かつまたみつえ（麻生区）、要望書を受け取る福田紀彦市長、むねた裕之（高津区・市議団長）、おおば裕子（中原区）、井口まみ（多摩区）、片柳すすむ（川崎区）、市古次郎（中原区）、後藤まさみ（川崎区）の各市議

台風19号被害 川崎市独自の 支援策などが実現

＝12月議会での台風被害に関する質問より＝

10月12～13日に大きな被害をもたらした台風19号について、川崎市独自の支援策が実現。

被害状況調査と、避難所や被災者の要望をまとめた緊急要望書を２回にわたって市長に提出。12月議会でも質問で支援策を要望した共産党と市民の要望が実ったものです。

台風19号　被災者向けの支援策

全壊	大規模半壊	半壊	一部損壊（準半壊）	一部損壊（10%未満）
被災者生活再建支援制度 50～300万円 ※半壊の判定のうち、住宅が半壊し、住宅を止むを得ず解体した世帯（半壊解体）を含む。		市独自支援策　30万円 ※床上・床下浸水被害		
災害救助法による住宅の応急修理制度 ※現物支給、日常生活に不可欠な部分の応急的な修理		59万５千円	30万	（対象外）

中小企業・小規模事業への復旧支援に補助金が実現

高津区の町工場では、浸水は最大3m、１階の機械はすべて浸水し修理不能、納品間近かだった製品も浸水して被害が１億円以上に及んだとの例を出し、実態に沿った補助額の拡大などを要望。被害額4000万円以下の経費については3/4（上限3000万円）。4000万円を超える経費については1/10（上限3000万円）を補助する事業を設置することが実現。

市民ミュージアムの浸水被害について

市民ミュージアムの浸水で被害を受けた収蔵品について、上層階への移動や、災害時の訓練、講習の実施が行われ真剣な討論が行われていれば、こうした事態は避けられたのではないかと指摘。収蔵品の移動や保管についても、収蔵品のことをよく知るあらゆる専門家の力を借りて保全に当たるよう要望しました。

被災農業者への支援について

ＪＡセレサの調査では、台風15号、19号による市内農家の被害件数は作物被害244件、施設被害101件、被害総額は最大で約3200万円と想定されているとのことでした。支援策の強化と、ハウス被害などの災害によって発生した廃棄物について無償での処理を早期に行うよう求めました。

多摩川河川敷の被害について

野球のバックネット等、河川敷の施設被害の復旧について質問しました。市は、マラソンコースの土砂の撤去、グラウンドの復旧等について年度内に着手し、回復したグラウンド等から使用を開始したいと答弁。

特養ホームの増設を急いで

10月１日現在、特養ホーム待機者は2602人。介護度５の待機者が全市で550人もいる異常な事態にもかかわらず、市はあと１年で230床の増設しか計画していません。せめて介護度５の方が早急に入れるよう、緊急増設を求めました。

教職員の長時間勤務について

国会で成立した教職員給与特別措置法の一部改正は、公立学校の教職員に「1年単位の変形労働制」を導入するというもの。「繁忙期」の超過勤務時間分は「閑散期」の夏休みに取るということですが、夏休み中も連日のように業務があり、年次休暇の消化すらできないのが現状です。

市議団は、36校の学校を訪問し、教員の働き方の実態を伺いました。現場の深刻な実態をもとに長時間労働の解決に本当に必要な、教員の増員や業務の削減を求めました。

病床削減ありきの「地域医療構想」に意見書提出

地域で重要な役割を担っている市立井田病院（中原区）を含む公的・公立病院の統合再編は見直すよう、国への意見書を全会派の賛成で可決。また、「選択的夫婦別姓制度の法制化を求める意見書」（共産党起案、みらい共同提案）「地球温暖化対策の強化を求める意見書」（共産党起案）を提案しました。（賛成少数で否決）

発行：日本共産党川崎市議会議員団　川崎市川崎区宮本町１ 川崎市役所内
Email：info@jcp-kawasaki.gr.jp　TEL:044（200）3360　FAX：044（245）4140

川崎市は「表現の自由」を守る立場に立つべき

Kawasaki しんゆり映画祭・上映中止問題について

10月27日に開催した「川崎しんゆり映画祭」で慰安婦問題を扱った映画「主戦場」の上映について共催者となっている市が、「裁判になっているようなものを上映するのはどうか」と主催者に懸念を伝えたことからいったん中止に。

市長は「表現の自由とは全く関係のない話だ」と述べていますが、予算権限の一部をもつ共催者の市が懸念を伝えること自体、憲法21条「表現の自由」に抵触するものだと批判。市長は「表現の自由」をしっかり守る立場に立つよう求めました。

朝鮮学園付属幼稚園にも「幼保無償化」に準ずる補助金を

10月から開始された、幼児教育・保育の「無償化」は、朝鮮学園附属幼稚園など外国人学校や一部の幼稚園類似施設は対象外となっています。救済措置をとっている自治体の例を紹介し、外国人学校も「幼保無償化」の対象とするよう国に働きかけ、市としても「無償化」に準ずる補助金などの措置を取るべきと市長に求めました。

10月の台風被害にあい、教室・廊下で雨漏りしている川崎朝鮮初級学校を訪問

「川崎市差別のない人権尊重のまちづくり条例」が成立

本条例は、第二章で、障害やＬＧＢＴなど人権全般について「不当な差別的取り扱いをしてはならない」と規定し、第三章以降で「本邦外出身者に対する不当な差別的言動の解消に向けた取組の推進、いわゆるヘイトスピーチを規制し、違反者には罰則が科されます。

障がい者団体の皆さん、ＬＧＢＴ当事者やご家族のみなさんからは、差別と偏見の中で苦しめられてきた現実と差別根絶の立場から、条例に明確な「差別禁止」条項を規定してほしい、障がい部分では「合理的配慮を欠くこと」、ＬＧＢＴ当事者の方からは「アウティング（※）禁止」を禁止内容としてほしいという切実な要望が寄せられてきました。議会質問を通じて、『不当な差別的取り扱い』の概念にこれらの内容が含まれ得ることが認められ、また、今後、明確な差別禁止規定を設けた個別の条例制定があり得ることも確認され、今後の取り組みをすすめる手掛かりとなりました。

ヘイトスピーチ規制部分について、市議団は一貫してあらゆる場でヘイトスピーチ反対の声をあげてきました。この間の当事者の皆さんをはじめ広範な市民の皆さんの運動が条例案の提案に結びついたことを心から歓迎すると表明。そのうえで、本規定の検討に際しては、憲法21条「表現の自由」、憲法31条「適正手続の保障」の罪刑法定主義から要請される構成要件の明確化をはかるという立場で論戦してきました。その結果、私たちが指摘した「3回の違反行為の内容」「特定の国もしくは地域」「あおり」「侮蔑」などの用語、「手段」などがより明確化または限定化。また、1回目の違反・勧告の後、「公表・罰則」の前に「差別防止対策等審査会」の意見を聴くという項目も加わりました。

素案から成文までの間に私たちが行った憲法21条、31条の観点からの指摘・質問に対して一定修正されたこと、何よりも当事者の皆さんの置かれた現状に心を寄せ、本条例に賛成しました。

※アウティング― 他人の秘密を暴露すること。他人のセクシュアリティーを勝手に第三者に言いふらすこと。

12月議会で 日本共産党川崎市議団 市民要求の実現に奮闘

2019年12月議会で共産党11人全員が一般質問にたち、台風被害についてなど身近な要望や市政の課題を取り上げました。

川崎区

後藤まさみ議員

●川崎市ワンルーム形式集合住宅等建築指導要綱について●解体工事時の騒音、振動の対策及び住民合意の形成について●南部防災センターの在り方及びその周辺の有効活用について

川崎区

片柳すすむ議員

●富士見一丁目の物流施設について●SOGIの人権について●川崎区役所と支所の在り方について●富士見周辺地区整備について

幸区

渡辺 学議員

●地域包括支援センターの人員について●市内電機大企業の人員削減について●新川崎駅前ロータリーの運用について

中原区

市古次郎議員

●山王排水樋管周辺浸水被害について●（仮称）西加瀬プロジェクトについて●平間踏切内に設置された看板について

中原区

おおば裕子議員

●宮内周辺地域における浸水被害について●補聴器購入の補助と補聴器に関わる専門家の活用等について●氷河期世代の就労と非正規職シングル女性について●今井地域の老人いこいの家及び総合自治会館跡地について

高津区

むねた裕之議員

●リニア中央新幹線の問題について●市営四方嶺住宅跡地の利用について●有馬川及び用水の洪水対策について●中原街道拡幅工事の進捗について

麻生区

かつまたみつえ議員

●高齢者実態調査アンケートの取り方等について●鶴川駅周辺の街づくりによる地域への影響について●小中学校の雨水貯水グラウンドについて●就学援助について●教職員の働き方について

多摩区

赤石ひろ子議員

●台風19号浸水被害地における今後の対応について●多摩区飯室東地区の緑地保全及び防災対策について●避難所の非常用電源について●登戸周辺の環境整備とまちづくりについて

多摩区

井口まみ議員

●井戸の跡地の活用状況について●人口に見合う市民館の配置について●多摩区菅稲田堤地区の浸水被害について

宮前区

石川けんじ議員

●五所塚地区の台風災害の支援について●鷺沼駅前地区再開発事業と宮前区役所の移転問題●わくわくプラザの実施状況と自主学童保育について●有馬中央公園のベンチと健康器具の設置について

高津区

小堀しょうこ議員

●台風19号による平瀬川と多摩川との合流部周辺の浸水被害と対策について●台風19号による宮内、諏訪、二子及び宇奈根排水樋管周辺の浸水被害と対策について●防災無線の設置について●女性保護事業について